

上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に係る考え方

1. 地方創生で目指すまちの姿(まち・ひと・しごと創生の目的)

国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な就業の機会の創出を一体的に推進すること(まち・ひと・しごと創生法より)

2. 「まち・ひと・しごと創生」の取組の方向性

解決すべき課題

1 人口減少傾向の緩和

2 人口減少社会でも持続可能なまちの形成

課題解決の手法:「まち・ひと・しごとの好循環」の形成

「まち・ひと・しごとの好循環」の形成を促進することにより、人口減少の影響を緩和・解消し、持続可能なまちを形成する

「まち・ひと・しごとの好循環」とは

「しごと」がある
 ↓
 「ひと」を呼ぶ
 ↓
 「しごと」が生まれる

の好循環を創出し、その好循環を支える「まち」に活力を生み出し、人々が安心して生活を営み、子どもを産み育てられる社会環境を作り出すこと

「しごと」の課題
 人口減少に伴う地域経済の縮小や労働力人口の減少への対応が課題

「ひと」の課題
 安心して子どもを産み育てられる環境づくりと上越市への新しい人の流れの創出が課題

「まち」の課題
 人々が上越市での生活やライフスタイルの素晴らしさを実感し、安心して暮らせるまちであり続けるための「地域活性化」や「都市構造の形成」が課題

「しごと」の創生

- 経済産業全体の付加価値や生産性の継続的な向上
- 若い世代が安心して働くことができるための「雇用の質」の確保・向上、将来に向けた安定的な「雇用の量」の確保・拡大

「ひと」の創生

- 安心して子どもを産み育てるための切れ目のない支援
- 上越市への移住・定着を促進するための仕組みの強化

「まち」の創生

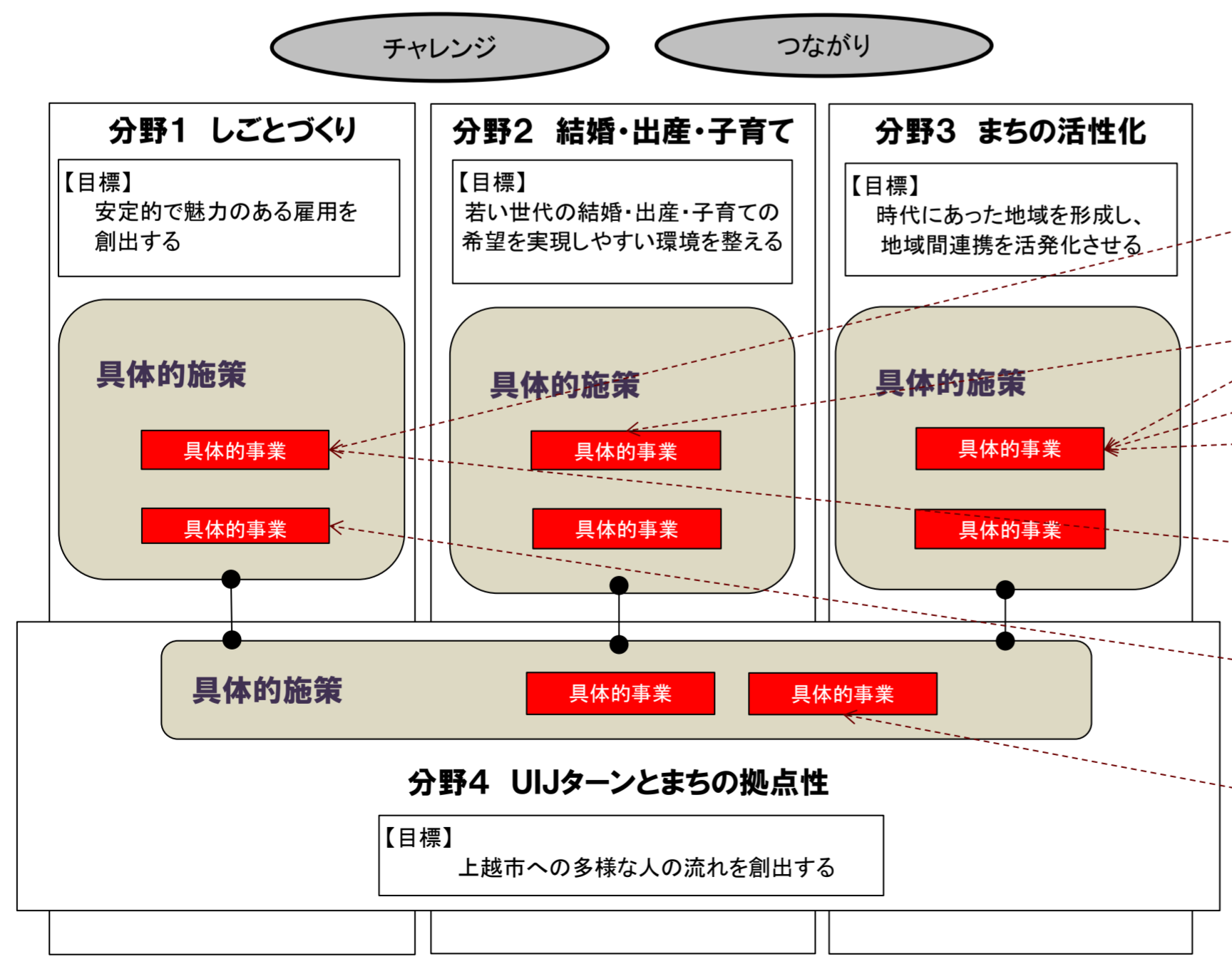
- 上越市の個性(まちの力)を生かし、自立したまちとして持続していくための地域づくり活動の活性化とその取組の持続性の確保
- 「面・点・線」による都市構造の形成と、広域的な機能連携の促進

3. 総合戦略の目標

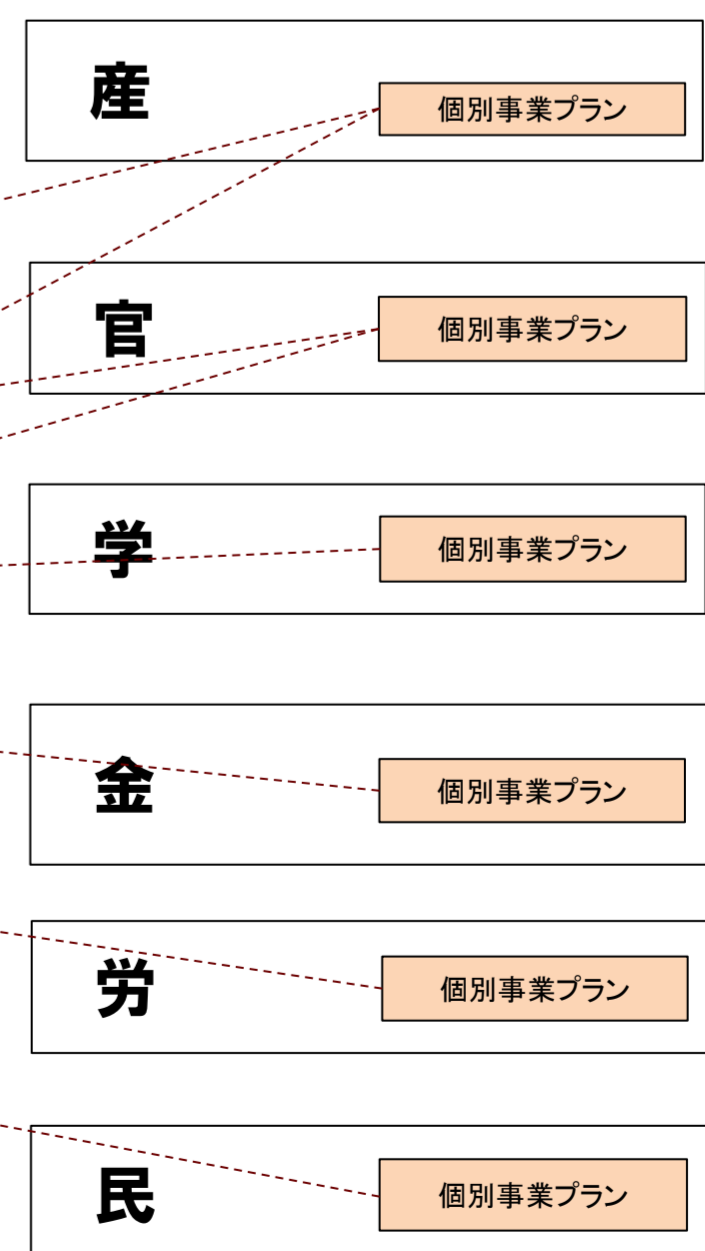
若者・子育て世代にとって、「選ばれるまち」「住みたいまち」の実現

総合戦略では、若者が家庭を築き、心豊かな家庭生活を営めるまちとしての魅力を重点的に高めていく

4. 「産・官・学・金・労・民」の枠組みによる4つの分野での取組



協議会の各団体での取組



※破線は事業を持ち寄る関係性を示すイメージ